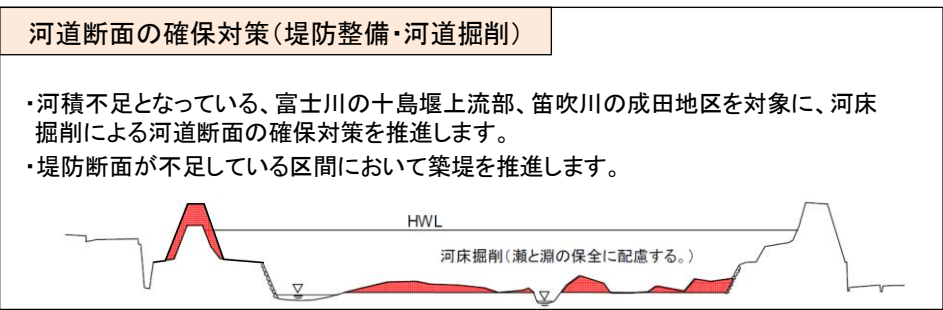
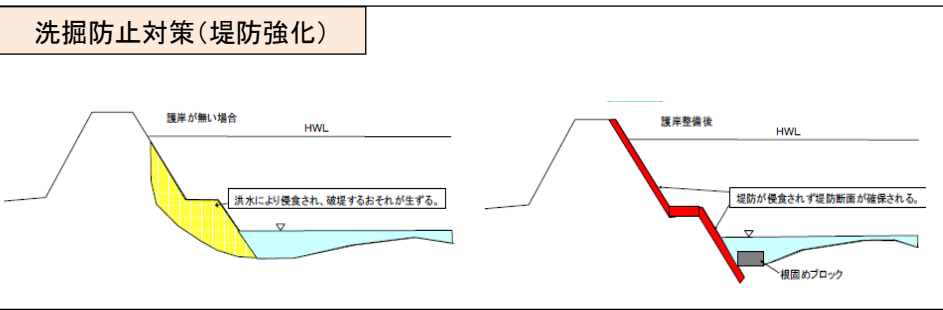
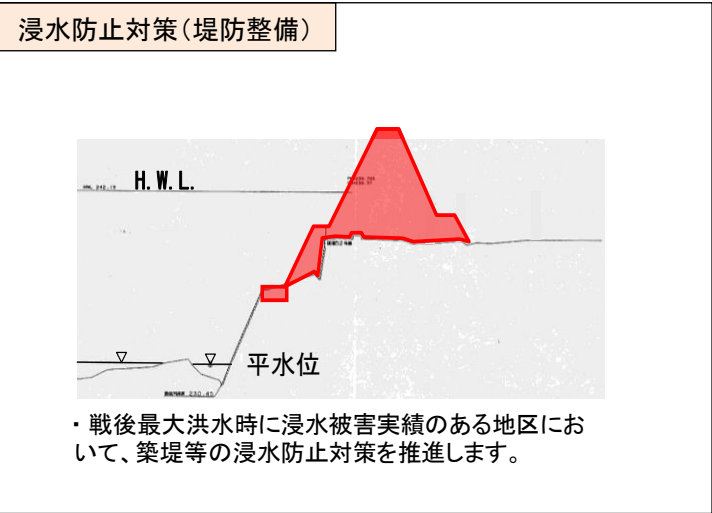
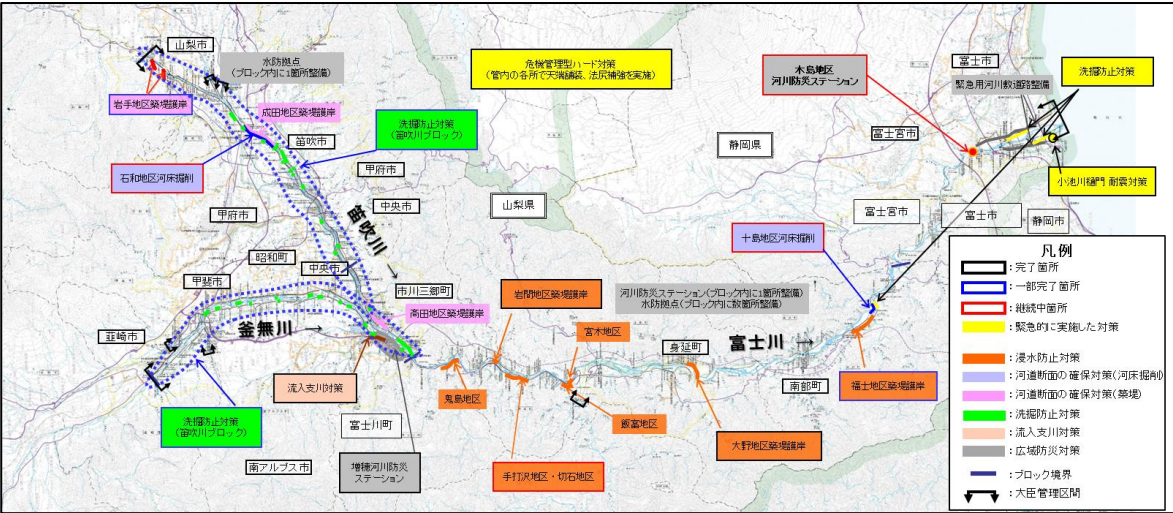


『富士川水系直轄河川改修事業』

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - (1) 洪水氾濫対策
 - ① 堤防整備、ダム建設・再生等の加速化

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

■ 取組の概要: 富士川、釜無川、笛吹川において戦後最大の 洪水と同規模の洪水から家屋の浸水を回避する。

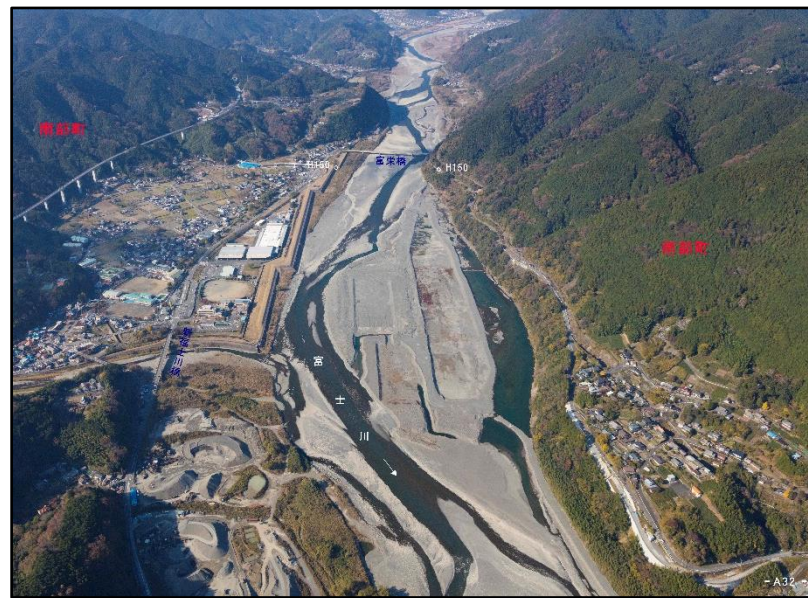
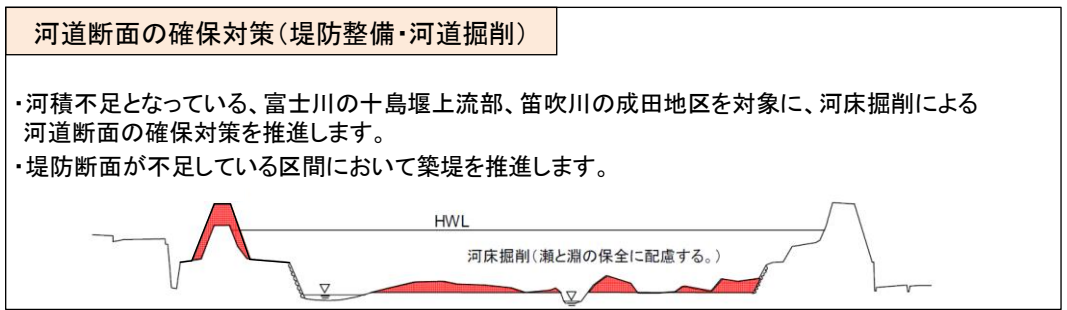
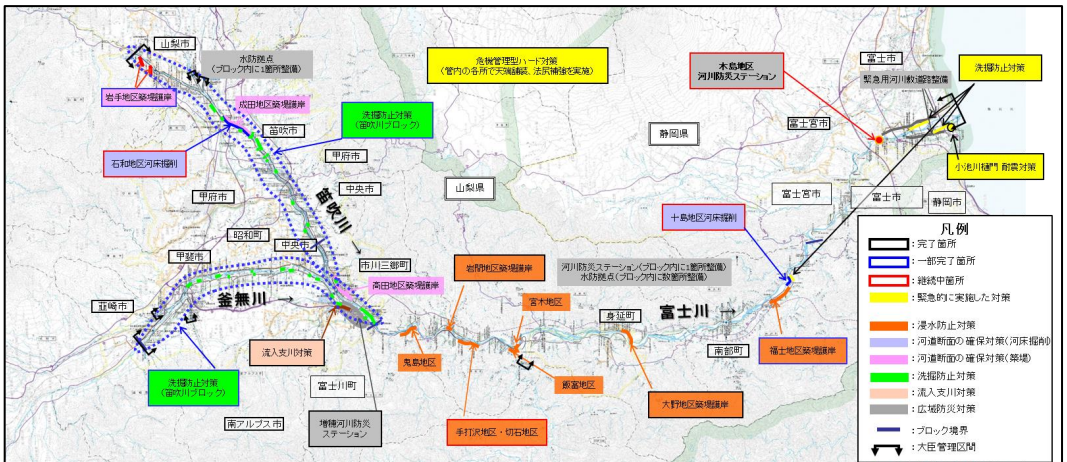


『富士川水系直轄河川改修事業』

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - (1) 洪水氾濫対策
 - ① 堤防整備、ダム建設・再生等の加速化

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

■ 取組の概要: 富士川、釜無川、笛吹川において戦後最大の 洪水と同規模の洪水から家屋の浸水を回避する。
・ 樹木伐採、河床掘削については、直轄河川改修事業だけでなく特定砂利採取制度を積極的に活用。



特定砂利採取箇所の航空写真

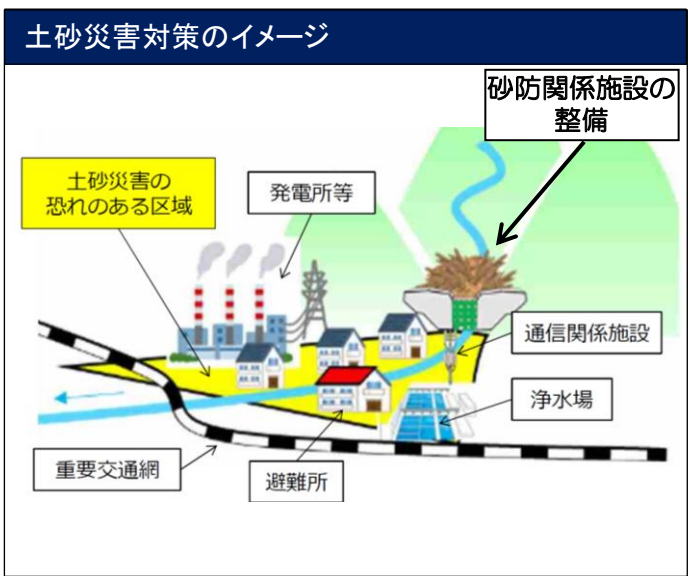
■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト:富士川砂防事務所・山梨県】

『いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進に関する取組』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(3) 土砂災害対策

① 砂防堰堤等の整備(いのちとくらしを守る土砂災害対策)
- ※別紙「各対策のバーチャート」における分類



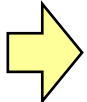
地域の生活や経済を支える基礎的・基幹的なインフラ施設を保全する施設整備を計画的・集中的に実施。

直轄砂防事業

早川流域・釜無川流域における土砂・洪水氾濫対策と土石流対策を実施【富士川砂防事務所】



尾白川第三砂防堰堤



災害発生直後



武智川下流第7床固(R4年度完成)



濁川三号砂防堰堤(R4年度完成)

富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織
富士川砂防事務所、富士砂防事務所、長野県、山梨県、静岡県

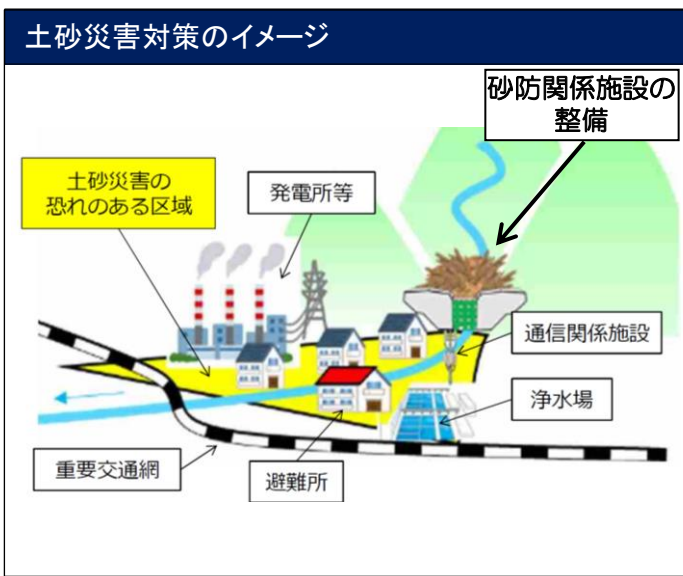
■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト:富士川砂防事務所・山梨県】

『いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進に関する取組』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

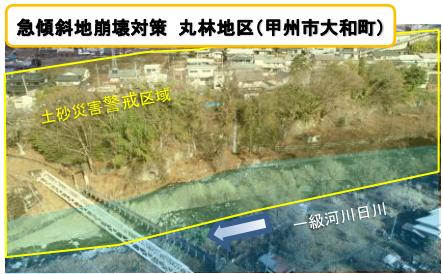
(3) 土砂災害対策

① 砂防堰堤等の整備 (いのちとくらしを守る土砂災害対策)
- ※別紙「各対策のバーチャート」における分類



地域の生活や経済を支える基礎的・基幹的なインフラ施設を保全する施設整備を計画的・集中的に実施。

上記以外の富士川流域における土石流対策、急傾斜地崩壊対策、地すべり防止対策を実施【山梨県】



直轄砂防事業 【富士川砂防事務所】



凡夫第4砂防堰堤 (R5年度完成)



立堀沢遊砂地工 (R4年度完成)

補助砂防関係事業



富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織
富士川砂防事務所、富士砂防事務所、長野県、山梨県、静岡県

『砂防・治山事業の連携』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(3) 土砂災害対策

① 砂防堰堤等の整備(いのちとくらしを守る土砂災害対策)

■ 取組の概要

- ・山間部を中心とした土砂災害対策として、治山事業と砂防事業において、相互連携して取り組むものである。令和5年度は、合同現地勉強会でお互いの事業箇所を確認することにより、顔の見える関係の構築、お互いの事業概要を把握した上での意見交換を行った。
- ・今後も砂防事業と治山事業の連携による効果的な流域流木対策等の推進に向け、引き続き勉強会等を開催予定。

令和5年度の直轄砂防事業者と直轄治山事業者の勉強会の様子



広河原



野呂川



荒川



広河内



小太郎沢



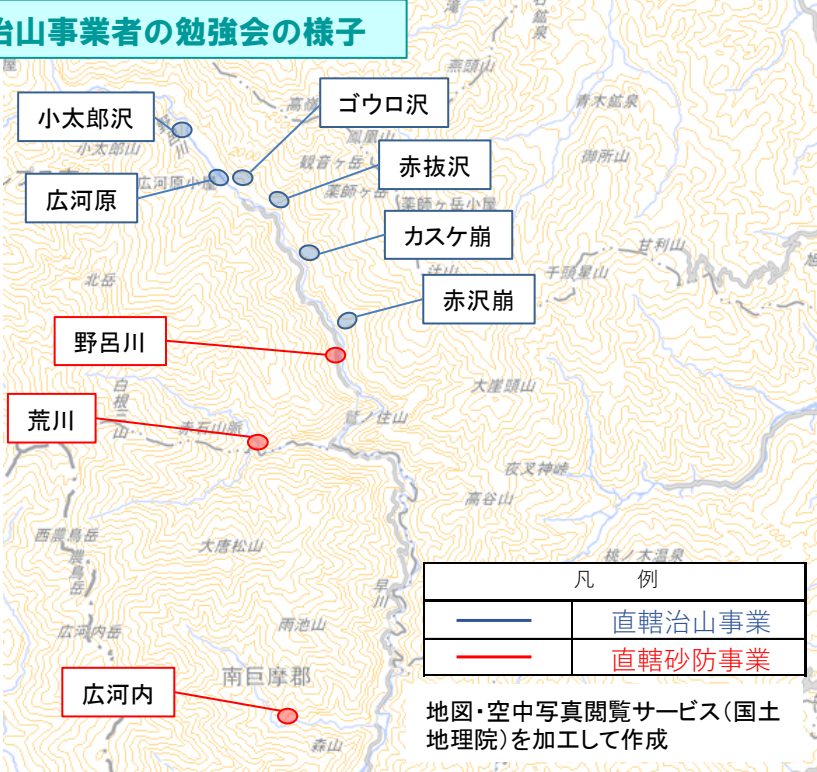
ゴウロ沢



赤抜沢



赤沢崩



凡 例	
— (Blue line) —	直轄治山事業
— (Red line) —	直轄砂防事業

地図・空中写真閲覧サービス(国土地理院)を加工して作成

『富士海岸の海岸保全対策』

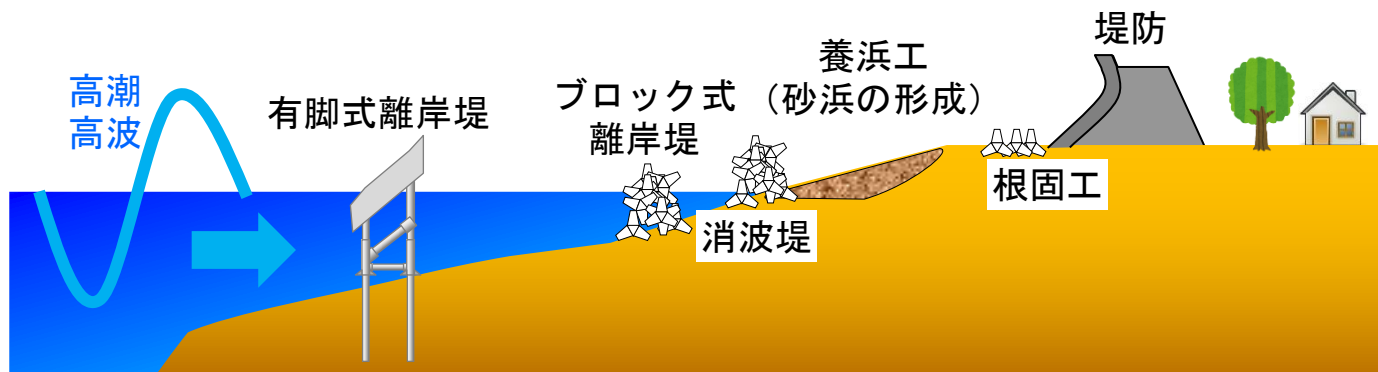
1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(4) 高潮・津波対策

① 海岸保全施設整備の推進

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

富士海岸の保全対策イメージ



- 海岸堤防、砂浜(養浜)、離岸堤等の海岸保全対策により、伊勢湾台風規模の高潮・高波に対して、背後地である沼津市・富士市・静岡市清水区市街地の安全・安心を確保する
- 富士海岸は、近年、富士川からの土砂供給の減少等により、砂浜が後退していた
- このため、引き続き離岸堤等の海岸保全施設を整備するとともに、富士川流域一体となった流域治水・総合土砂管理に基づく関係機関が連携した砂浜の形成・維持(養浜工等)の取り組みをより推進していく



背後地を守る海岸保全施設

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト:甲府河川国道事務所】

『利水ダム等における事前放流等の実施、体制構築』

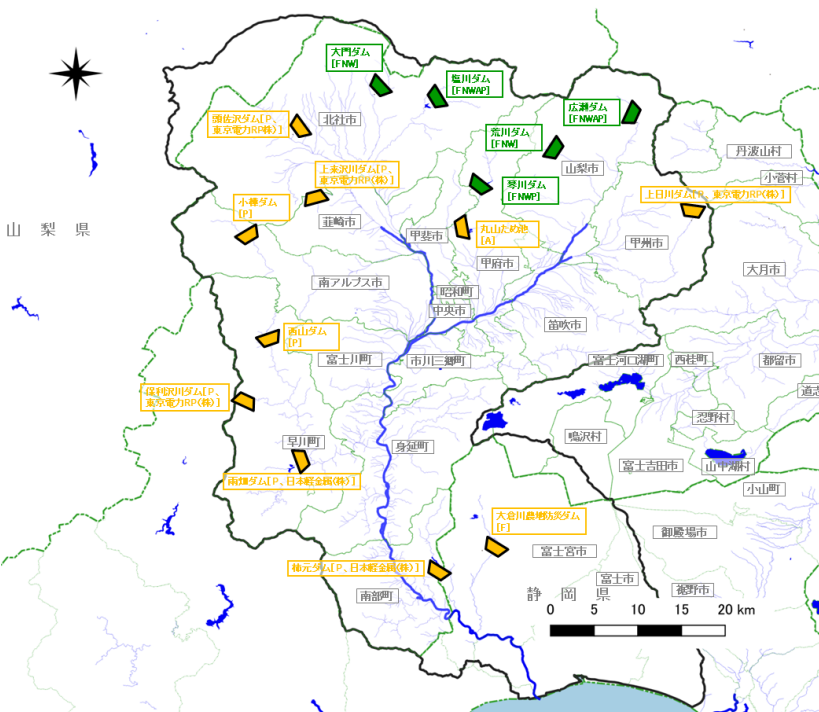
- ### (5) 流水の貯留機能の拡大

- ### ①利水ダム等による事前放流の更なる推進（協議会の創設等）

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

■取組の概要

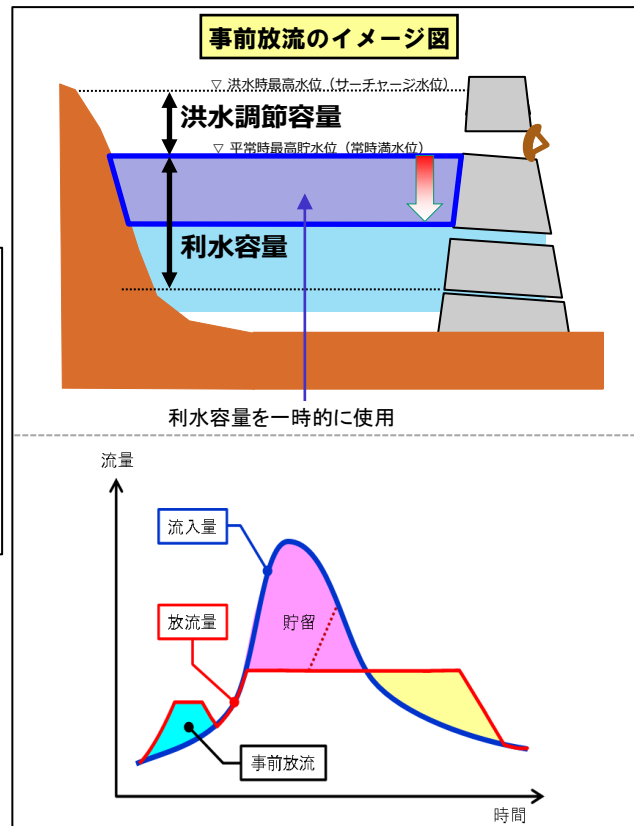
- ・既存ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大限活用するにあたり、洪水調節容量を使用する洪水調節に加えて、事前放流及び時期ごとの貯水位運用により一時的に洪水を調節するための容量を利水容量から確保し、事前放流等を実施します。
- ・富士川水系では、約2,160万m³の洪水調節可能容量について治水協定を締結。



-  : 主要な地点
 : 流域界
 : 大臣管理区間
 : 指定区間
 : 県管理ダム[目的]
 : 利水ダム[目的・管理者]

ダムの機能

F:洪水調節、
N:流水の正常な機能の維持、
W:上水道用水
A:農業用水、
P:発電



【事前放流とは】

大雨となることが見込まれる場合に、大雨の時により多くの水をダムに貯められるよう利水者の協力のもと、利水のための貯水を河川の水量が増える前に放流してダムの貯水位を低下させ、一時的に治水のための容量を確保するもの。

富士川水系流域協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織

甲府河川国道事務所、山梨県

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト:富士見町】

『条例等に基づく開発行為に対する流出抑制指導、促進』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(6) 流域の雨水貯留機能の向上

① 流域の関係者による雨水貯留浸透対策の強化

※別紙「各対策のバーチャート」における分類



富士見町での事例

流出抑制の取組として、大規模太陽光発電設備設置に伴い雨水貯留施設を整備。
施設規模としては7, 254m³を貯留する。

■ 取組の概要

富士見町環境保全条例により、「開発区域その周辺の区域及び下流の地域において、溢水による被害を防止するための処置を講ずること。」としている。

開発行為に対し雨水排水処理は敷地内浸透処理を原則とするが、開発区域面積が1haを超える場合は、「長野県流域開発に伴う防災調整池等技術基準」により防災調整池その他の流出抑制措置を講ずるものとする。

（根拠法令:都市計画法第33条第3号、都市計画法施行令第26条）

富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織

富士見町、南アルプス市、富士川町、笛吹市、富士宮市、富士市、静岡市、沼津市

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト:静岡県】

『森林の維持・造成に関する取り組み』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(6) 流域の雨水貯留機能の向上

② 森林整備・治山対策

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

■ 取組の概要

- ・山地災害発生箇所における治山施設の設置による森林の復旧
- ・過密化した保安林における本数調整伐の実施による健全な成長の促進



溪流の安定化と山脚の固定



過密化した保安林の本数調整伐

取組による効果

- ・森林の維持造成により、森林が持つ土砂流出防止や水源涵養機能等の適切な発揮。

富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織

静岡県、長野県、山梨県

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト:森林整備センター】

『森林の維持・造成に関する取り組み』

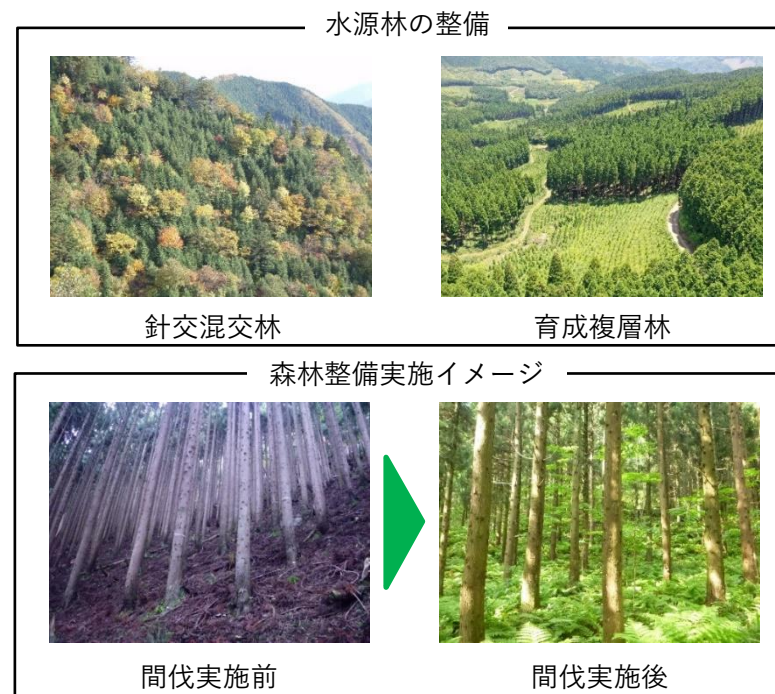
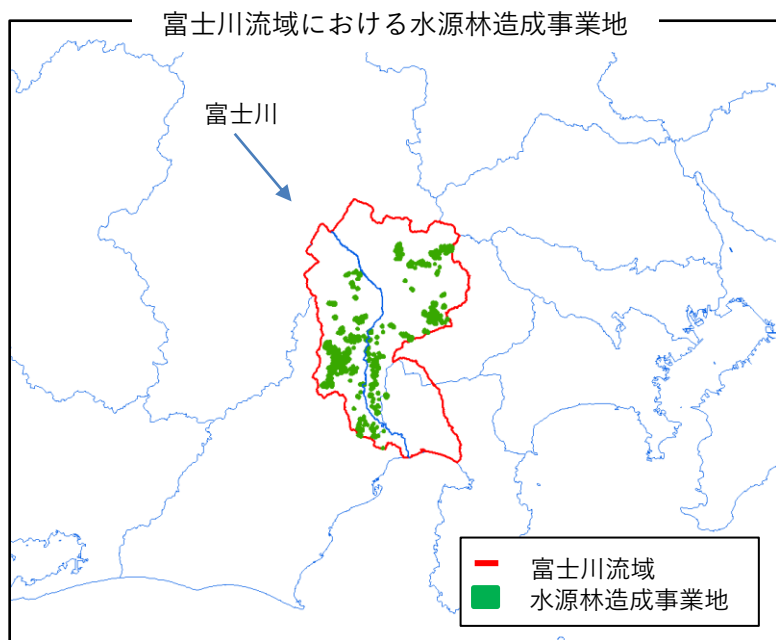
1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(6) 流域の雨水貯留機能の向上

② 森林整備・治山対策
- ※別紙「各対策のバーチャート」における分類

水源林造成事業による森林の整備・保全

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進する。
- ・富士川流域における水源林造成事業地は、約400箇所（森林面積 約7千ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していく。



富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織
森林整備センター、長野県、山梨県、静岡県、富士見町、山梨森林管理事務所、静岡森林管理署

『雨水貯留浸透施設の整備』

1.氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

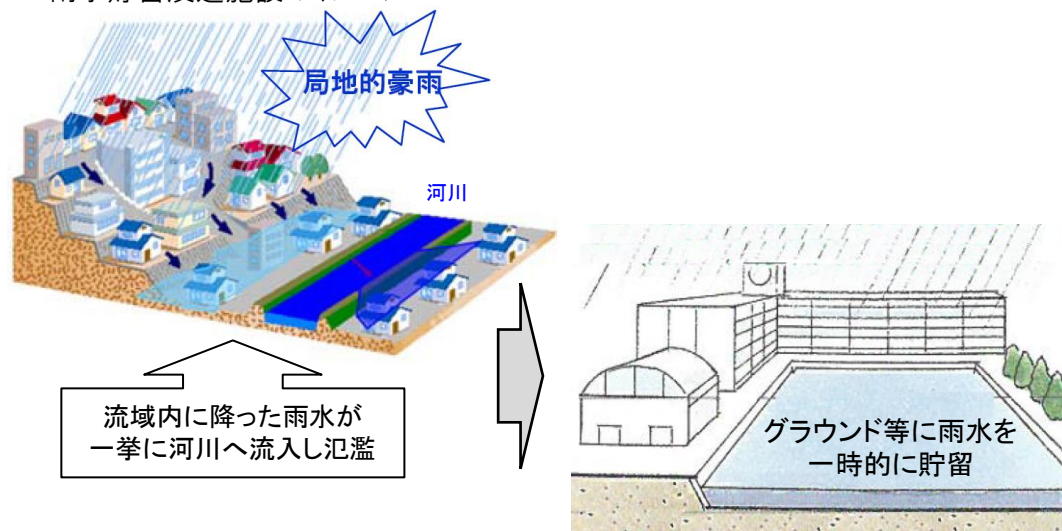
(6)流域の雨水貯留機能の向上

③雨水貯留浸透施設の整備

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

一時的に雨水を貯留できるよう既存のストックなどを活用した流出抑制対策を実施

■ 雨水貯留浸透施設のイメージ



流域内に降った雨水を一時的に学校のグラウンドなどに貯め、河川の急な増水を防ぐ。

■ 雨水貯留浸透施設の事例(甲府市立東小)



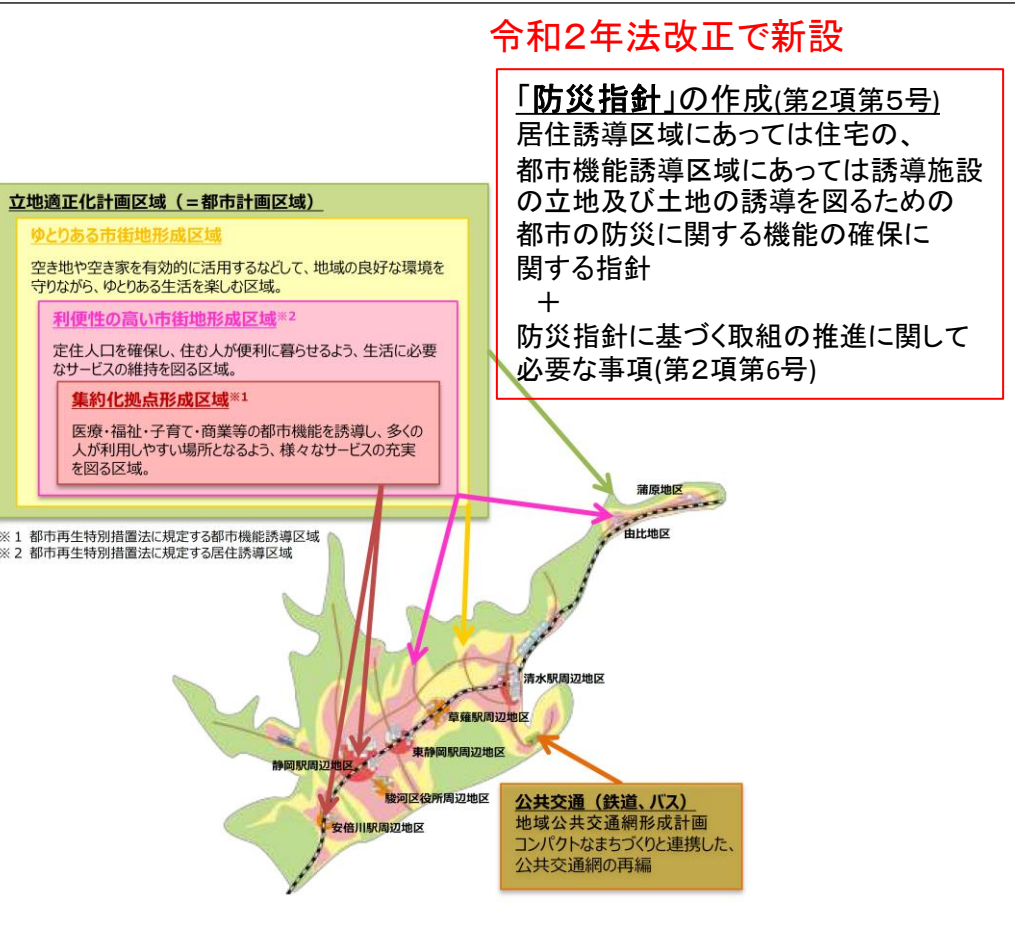
『立地適正化計画による浸水リスクを考慮したまちづくり（防災指針の作成）』

2.被害対象を減少させるための対策

(1)水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫

①防災指針の作成

※別紙「各対策のバーチャート」における分類



■ 取組の概要

- ・平成28年度に集約化拠点形成区域を明確にした「立地適正化計画」を策定、平成30年度には利便性の高い市街地形成区域(居住誘導区域)を追加する改定を経て、本計画によりコンパクトシティを推進しています。
- ・「災害リスク」の観点を取り入れたまちづくりを実現するため、立地適正化計画の記載事項として、新たに居住誘導区域内の防災対策を記載する「防災指針」を位置づけ、災害リスクを考慮した区域見直しを行い、コンパクトシティの取り組みにおける防災対策を推進できるよう検討を行っています。

■ スケジュール(立地適正化計画)

スケジュール													
H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10以降
計画検討 策定				計画の運用									
都市機能誘導区域				計画改定									
				(居住誘導区域)									
				立地適正化計画見直し(防災指針位置づけ)									
				計画改定									
				新たなハザード情報作成時における、必要に応じた立地適正化計画の見直し									

■対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト:山梨県、南アルプス市】

『立地適正化計画による浸水リスクを考慮したまちづくり（防災指針）』

- 2.被害対象を減少させるための対策
- (1)水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫
- ①防災まちづくり方針の策定

※別紙「各対策のバーチャート」における分類



■スケジュール(立地適正化計画)

項 目	短期目標 (令和 9 年度末)	中期目標 (令和 14 年度末)
「防災まちづくり」や「住まい方の工夫」の推進	「防災まちづくり方針」の策定・ガイドラインの作成 市町村都市計画マスタープランの改定	立地適正化計画(防災指針)の作成

※長期目標:「防災まちづくり」、「住まい方の工夫」の実践

■取組の概要

・水災害リスクの低い地域への居住や都市機能の誘導、コンパクトなまちづくりにおける防災への配慮に加え、水災害リスクのあるエリアでの敷地の嵩上げ(盛土)や、建物をピロティ構造にするなど、住まい方の工夫を推進するため、県は流域にとらわれず広域的な見地から水災害リスクの分析・評価を行い、市町村が居住誘導区域等を設定する際の方針となる「防災まちづくり方針」を策定し、ガイドラインなどで示します。

・また、市においては「防災まちづくり」や「住まい方の工夫」の推進を図るため、都市計画マスタープランに方向性を示すとともに、ガイドラインに基づき、立地適正化計画の作成について検討を進めます。

富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町

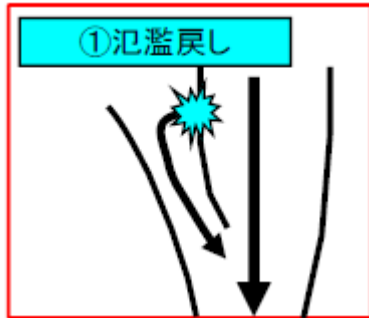
山梨県、南アルプス市

『二線堤・霞堤の保全・整備 等』

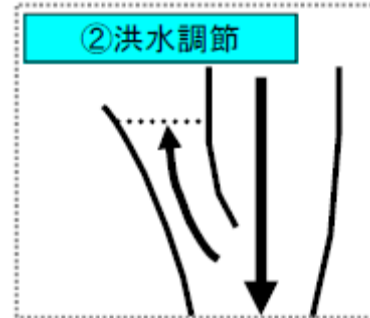
- 2.被害対象を減少させるための対策
- (3) 浸水範囲の限定・氾濫水の制御
- ① 二線堤の整備や自然堤防の保全

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

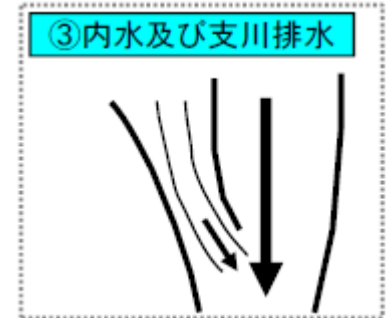
霞堤の機能について



上流側で破堤した氾濫水を、本川に戻す機能である。特に、氾濫原の地形勾配が急で本川からの逆流が少ない、急流河川において効果的である。急流河川である釜無川の霞堤は、この氾濫戻し機能が顕著である。



本川の洪水を逆流させて一時的に貯留する、いわゆる自然遊水地における洪水調節機能である。特に、氾濫原の地形勾配が緩く本川からの逆流が可能な、緩流河川において効果的である。



内水や支川の洪水を、本川に戻す機能である。本川からの逆流が少ない地域において、樋管がなくても内水排除ができる。



富士川流域に現存する歴史的治水施設(二線堤・霞堤)について、保全と整備を図るとともに、現在期待出来る効果や、施設周辺の土地利用状況などの把握を行い、施設の効果を生かすための課題に取り組む。

『二線堤・霞堤の保全・整備(機能回復・拡充等)』

2.被害対象を減少させるための対策

(3) 浸水範囲の限定・氾濫水の制御

① 二線堤の整備や自然堤防の保全

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

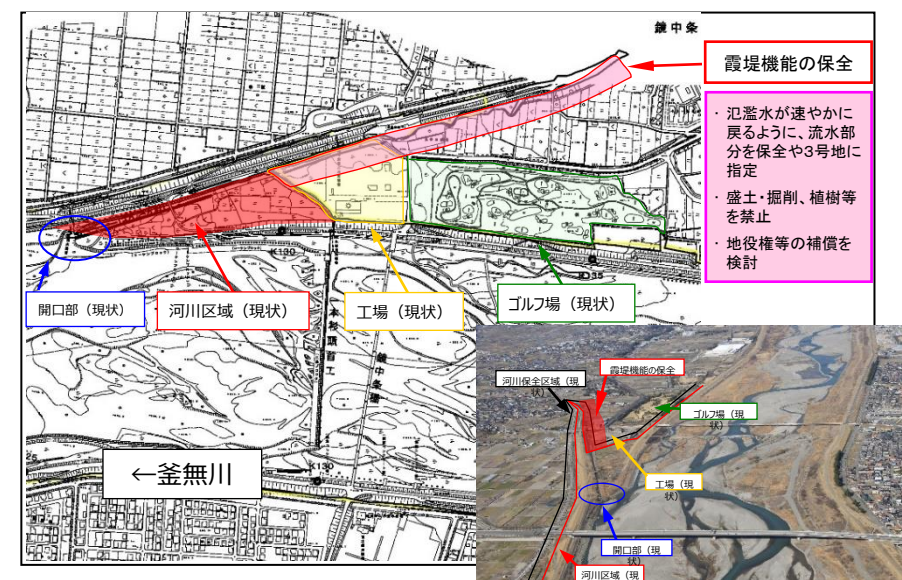
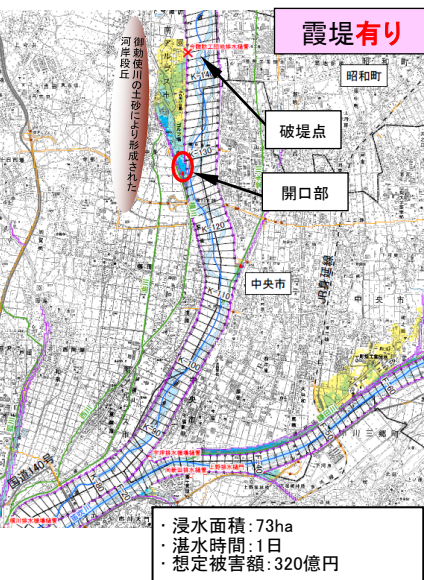
■ 取組の概要

・洪水氾濫時において霞堤の保全により、浸水被害が大きく軽減や人的効果のある場所について、機能回復や機能拡充を行う。

流水の戻り部分は、開発規制や河川区域指定など継続性、効果性を視野に検討を行っていく。

・急流河川である富士川では、霞堤は氾濫水を戻す効果が大きく、特に霞堤の一部を構成する背後堤防が段丘に接続している場合、霞堤によっては氾濫水が河道に全て戻り下流への被害増大を防ぐ。
・霞堤の有無により、浸水面積は583haから73ha、湛水時間は約4日から約1日、被害額は892億円から320億円と減少

・霞堤は存置されているが、開口部を通じて氾濫水が戻るように、盛土、掘削、家屋等の建造を規制や地役権等により河川区域の3号地に指定することを検討(機能回復+機能拡充検討)



富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織
甲府河川国道事務所、山梨県、南アルプス市

■対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト:国、山梨県、静岡県】

『想定最大規模洪水も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域図の公表』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(1)土地の水害リスク情報の充実

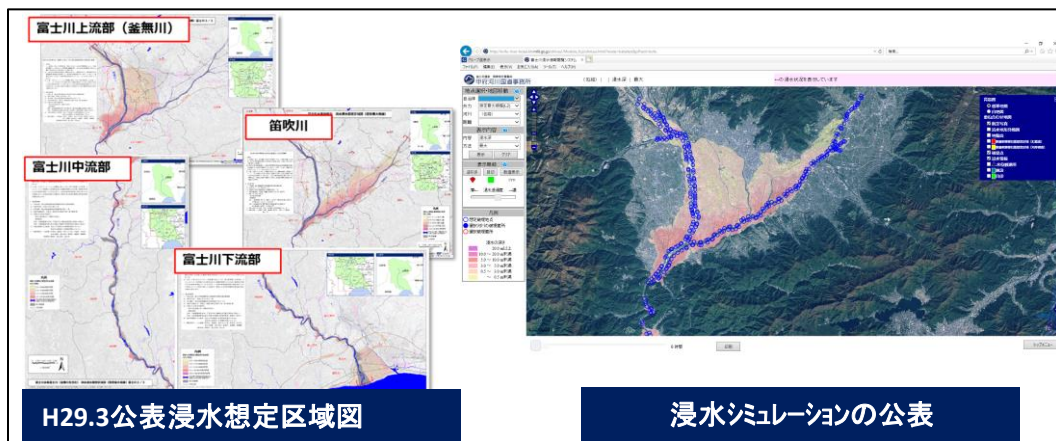
①水災害リスク情報空白地帯の解消

■対策の概要

- ・想定し得る最大規模の洪水に対する避難体制等の充実・強化

■実施内容

- ・自治体ハザードマップ作成のための洪水浸水想定区域図(想定最大規模、浸水継続時間、計画規模)、家屋倒壊等氾濫想定区域、浸水シミュレーションの公表
(国:平成29年3月21日、山梨県:平成29年7月31日～、静岡県:平成29年12月26日～)
- ・上記を踏まえた自治体によるハザードマップ見直しの支援(引き続き実施)
- ・自治体による土砂災害の発生を考慮したハザードマップの作成支援(引き続き実施)



富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織

国、山梨県、静岡県

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト：南アルプス市、静岡市】

『地域防災力の向上のための人材育成』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(1)土地の水害リスク情報の充実

②地域の水防体制の強化

■ 対策の概要

- ・「自助」「共助」による地域防災力の強化を目的とし「地域防災リーダー養成講習※」を開催。 ※静岡市では「自主防災組織リーダー研修会」の名称で実施。
- ・自治会推薦者及び一般応募者を対象に講習を受講。
- ・講習・実習内容は、避難所運営や自主防災マップ作成、自主防災組織による先進事例発表など。

テレビCMの放映(長野県：令和5年度)

地方局において令和5年6月～7月の期間で放映

<講習会開催状況>災害用伝言ダイヤル実習



<講習会開催状況>避難所運営図上演習

高校生への防災講座(静岡市：令和5年度)



自主防災組織リーダー研修会(静岡市：令和5年度)



富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織

長野県、山梨県、静岡県、北杜市、韮崎市、甲斐市、昭和町、中央市、甲府市、市川三郷町、山梨市、身延町、早川町、南部町、富士市

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト:甲府市】

『地域防災力の向上のための人材育成』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(1)土地の水害リスク情報の充実

②地域の水防体制の強化

■ 対策の概要

- ・水害発生時の円滑な避難を目的とし、市内17地区で「水害避難の地区研修会」を開催。
- ・講習・実習内容は、避難所運営やマイタイムラインの作成、垂直避難訓練など。
- ・避難場所誘導標識の一部を想定浸水深を示した洪水標識へ変更。

研修会受講の様子(水害避難の地区研修会)
(甲府市:令和5年度)



垂直避難訓練の様子(水害避難の地区研修会)
(甲府市:令和5年度)



指定避難所周辺の電柱に設置してある避難場所誘導標識の一部について想定浸水深を示した洪水標識へ変更 (甲府市)

設置した洪水標識

赤いテープにより
浸水深を視覚的に確認



富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織

長野県、山梨県、静岡県、北杜市、韮崎市、甲斐市、昭和町、中央市、甲府市、市川三郷町、山梨市、身延町、早川町、南部町、富士市

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト:甲府河川国道事務所】

『小中学生等を対象とした水災害教育の実施、出前講座を活用した講習会の実施』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(1)土地の水害リスク情報の充実

②地域の水防体制の強化

■ 対策の概要

- ・小中学生の防災学習の取組として、出前講座を活用した防災教育授業を実施。
- ・職員が出向いて対面方式での授業やWEB方式での授業、現場での歴史的治水施設の見学、護岸整備工事箇所での現場見学を実施。

<出前講座開催状況>



令和4年度

信玄堤の見学状況



令和4年度

護岸整備工事の説明時



令和4年度



令和5年度



令和5年度



令和4年度



令和4年度

ドローン説明、重機操作体験の様子 甲府河川国道事務所

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト:山梨県、静岡市】

『適切な土地利用の推進』

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - (2)あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供
 - ①土地等の購入にあたっての水害リスク情報の提供

■ 対策の概要

- ・従来より、宅地建物取引業者に対し「水害ハザードマップの入手方法」や「内容説明」については、適切な対応を行ってきたところ。
- ・また、令和2年8月28日には宅地建物取引業法施行規則の一部が改正され、水防法に基づき作成された水害ハザードマップにおける「取引対象の宅地又は建物の所在地」を、新たに「重要事項説明」の項目として位置付ける改正が行われたところ。

■ 対策の現状

- ・山梨県では、「不動産関係団体への説明」の為、会議へ参加「水害リスクに関する情報の解説」を実施、静岡市では「不動産業者へのハザードマップの配布」「WebGIS版ハザードマップの公開」などの取組みを実施し、宅地建物取引業者及び購入者へ周知・説明に努めている。

宅地建物取引業法施行規則

○内閣府令第二号 宅地建物取引業法（昭和二十七年法律第七十六号）第三十五条第一項第十四号及び並びに同条第三項第七号、前法第五十条の二の四の規定により読み替えて適用される法第三十五条第三項第七号の国土交通省令で定める事項、 法第三十五条第三項第七号の国土交通省令で定める事項は、当該信託財産が宅地である場合にあつては第一号から第三号の二まで及び第七号に掲げるもの、当該信託財産が建物である場合にあつては第一号から第七号までに掲げるものとする。 一、三（略） 三の二 水防法施行規則第十一号の規定により当該信託財産である宅地又は建物が所在する市町村の長が提供する図面に当該信託財産である宅地又は建物の位置が表示されているときは、当該図面における当該信託財産である宅地又は建物の所在地 四、七（略）	宅地建物取引業法施行規則の一部を改正する命令 宅地建物取引業法施行規則（昭和三十一年建設省令第十一号）の一部を次のように改正する。 次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改め、改正後欄に掲げるその標記部分に二重傍線を付した規定で改正前欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを加える。 令和二年七月十七日 内閣府令第二号 国土交通大臣 赤羽 一嘉 国土交通大臣 安部 晋三
---	--

富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織
静岡県、韮崎市、甲斐市、市川三郷町、富士川町、富士市

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト:山梨県、国土交通省(市町は情報活用)】

『洪水予測や水位情報の提供の強化』

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための充実

(3)避難体制等の強化

①洪水・高潮予測の高度化

■ 対策の概要

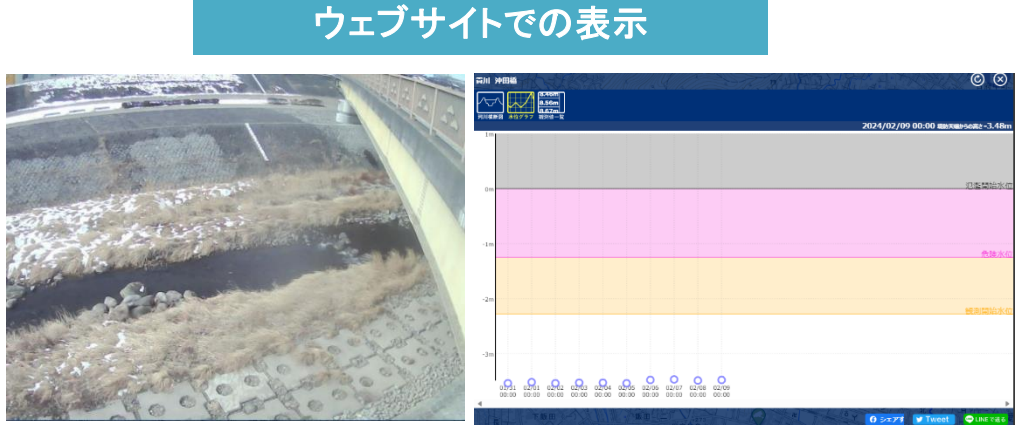
- ・平成29年7月の九州北部豪雨や平成30年7月豪雨においては、洪水時に河川の状態をリアルタイムに把握する手段がなく、住民の避難行動を強く促す河川映像などの情報を発信することが課題。
- ・危機管理型水位計や簡易型カメラを多数の地点に設置し、身近な河川の状態をウェブサイト等配信によりリアリティをもって伝え、地域の方の避難に活用いただく。

■整備の状況：山梨県では、令和5年度末で危機管理型水位計を「194基」、簡易型カメラを「42基」を設置済し、ウェブサイトにて配信中。

「川の水位情報」より



ウェブサイトでの表示



設置事例



簡易型カメラ



危機管理型水位計

富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織
(※市町は情報活用)

■対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト: 県・市町(国は支援・助言)】

『住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進』

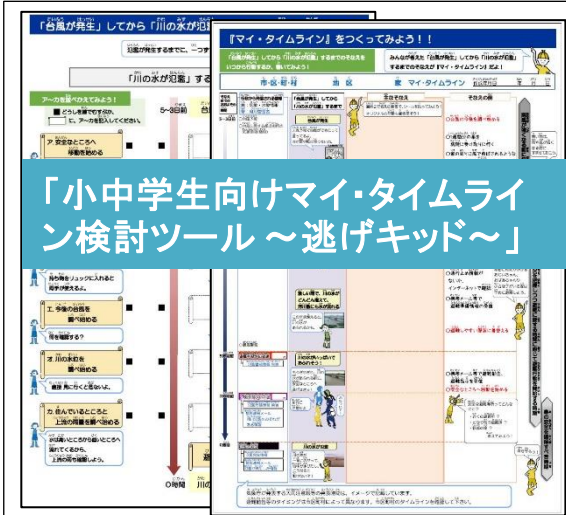
- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための充実

(3)避難体制等の強化

②ハザードマップやマイ・タイムライン等の策定

■対策の概要

- ・マイ・タイムラインは、台風や大雨の水害に対し、各自住民一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、「いつ」「誰が」「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画。
- ・それぞれがマイ・タイムラインを作成することで、行動のチェックリストや判断のサポートツールとして活用され、「逃げ遅れゼロ」を期待。
- ・国は作成支援ツールを提供、県・市町開催し住民が参加する防災関係会議等にて、講習の場を設置。



富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織
山梨県及び静岡県の18市町において、普及促進を行う予定

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト:市町村、(国土交通省他)】

『道路高架区間の一時避難場所としての活用』

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための充実

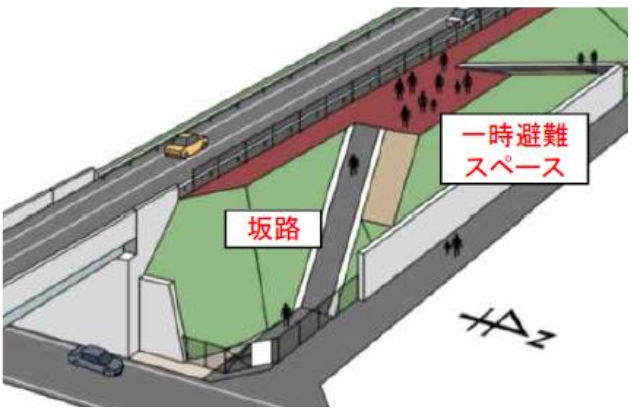
(3)避難体制等の強化

③安全な避難先の確保

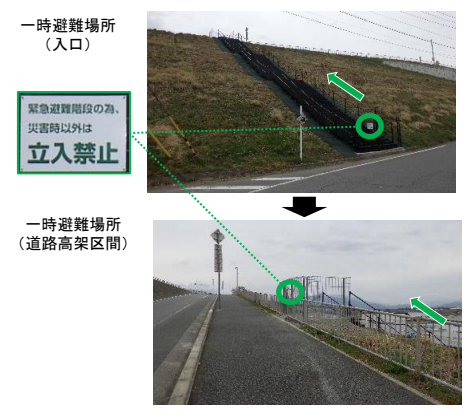
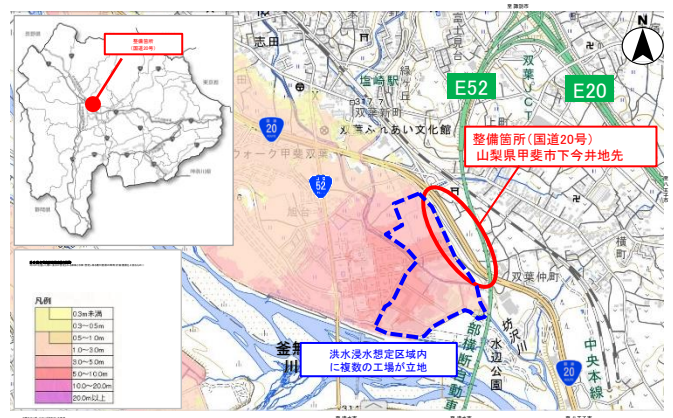
■ 対策の概要

- ・ 昨今の豪雨災害を踏まえ、地方自治体では洪水等発生時の緊急避難場所の確保が急務。
- ・ 洪水等の浸水想定エリアと重複する道路(直轄国道・高速道路)区間のうち、浸水想定より道路の方が高い道路区間を抽出。
- ・ 地方自治体から緊急避難場所として要望のある箇所に対し、避難施設等を設けることで、洪水等発生時の住民の安全を確保。

【道路区域に設けられる緊急避難施設のイメージ】



【整備事例】 国道20号 (甲斐市下今井)



富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織 (括弧内は、緊急避難施設の路線名・道路管理者)
甲斐市(国道20号・甲府河川国道事務所、中央自動車道・NEXCO中日本)
※上記の他、今後、緊急避難場所として活用するニーズがある箇所について、整備等に向けて市町村と道路管理者間で調整

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト：県・市町（国は支援・助言）】

『広域避難に関する調整、避難経路の検討及び支援』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(3) 避難体制等の強化

④ 広域避難体制の構築

■ 対策の概要

・大規模災害時には、被害状況により避難所が不足し、住民が市区町村外もしくは都道府県外への避難を要する可能性があり、長期間浸水する恐れのある地域等、当該自治体を超えて避難する必要がある自治体において、広域避難となることを想定した事前の協定等の取り決めに促進することを目的とする。

■ 対策の現状 山梨県では令和2年度より、「広域避難検討会」を開催。

＜検討例＞平成30年に、中央市と昭和町をモデル地区とした勉強会を開催



＜令和3年度の会議開催状況＞（令和4、5年度はweb形式で開催）



富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織

山梨県では、令和2年度より県内全市町村を対象とした検討会を開催

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト:市町村(国土交通省、県)】

『地図等を用いた災害教訓の“見える化”』

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための充実
- (3)避難体制等の強化
- ⑤住民の主体的な避難行動につながるための平時の取組

■ 対策の概要

- ・過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害等の自然災害に係る事柄(災害の模様や被害の状況など)が記載されている石碑やモニュメントである「自然災害伝承碑」の情報を、地形図等に掲載することで、災害教訓を“見える化”する取組を国土地理院において実施中。
- ・富士川流域における自然災害伝承碑の情報を登録し、地図を通じて過去の自然災害の教訓を防災教育に活用することで、地域住民の防災意識の向上が図られ、的確な防災行動による被害の軽減を目指す。

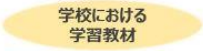
<自然災害伝承碑の登録事例(山梨県韭崎市、山梨市)>



碑名	水難供養塔
災害名	昭和34年台風7号(1959年8月14日)
建立年	1961
伝承内容	昭和34年(1959)8月14日の台風7号により、釜無川の堤防が決壊、祖母石地区は土砂と流木による濁流に襲われ、家の1階をすっぽり水に埋めた。濁流はそのままツ谷地区に流れ込んだ。碑には亡くなった16名の御名前が刻まれている。



<過去の災害情報を知る機会作り、災害履歴を学ぶ防災教育素材、講習会等で防災意識向上となる起因等を期待>

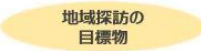


学校における
学習教材



身近な災害履歴を学ぶための
学習教材として、小中学校で活用いただく。

地理教育や防災教育
への貢献



地域探訪の
目標物



歩こう会などの探訪コースを設定する際の目標物として、参加者が地域を歩きながら自然と過去の災害情報に触れる機会を創出する。

防災に対する関心を
高めるきっかけ



防災地図の素材



自然災害伝承碑の情報などを素材とした防災地図を、児童生徒が現地調査を交えながら作成する。

児童生徒やそのまわりの
大人の防災意識向上

富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町(引き続き他の市町に展開予定)

北杜市(6箇所)、韭崎市(5箇所)、山梨市(2箇所)、笛吹市(3箇所)、南アルプス市(1箇所)、富士市(5箇所)、沼津市(5箇所)、静岡市(9箇所)

計40箇所 ※R6.3.31時点掲載

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト:富士川流域砂防連絡会※】

『関係機関との合同防災訓練の実施』

※ 韮崎市、早川町、南アルプス市、北杜市、富士見町、山梨県、長野県、富士川砂防事務所により構成

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- (3)避難体制等の強化
- ⑥関係機関との連携体制の強化

■ 対策の概要:

・土砂災害時の連携体制強化及び各機関の災害対応能力の向上を目的として、平成23年度より管内5自治体と毎年持ち回りで合同防災訓練を実施。令和5年度は早川町、山梨県、甲府地方気象台と各機関の状況に応じた動きや被災状況の共有方法、支援内容を確認。

訓練参加者関係図

訓練会場全景

付与された状況に関する訓練資料

土砂災害警戒情報の発表(降雨分布)

土砂災害緊急調査の結果

訓練状況(各演習機関)

経験談から学ぶ事前勉強会

訓練状況(講評)

訓練に先立ち、呉市職員を講師とした過去の災害対応に関する講演を実施

訓練中は土砂災害警戒情報の発表など、進行者より付与された状況に対する各機関の対応を確認。適宜質疑応答、意見交換を実施。

訓練の終わりに講師者による講評・総括を実施

富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織 ※上記訓練には以下の機関が参加(自治体は持ち回り)
富士川砂防事務所、山梨県、長野県、富士見町、北杜市、韮崎市、南アルプス市、早川町、甲府地方気象台

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト：国、県、市町】

『大規模氾濫減災協議会の設置』

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- (4)経済被害の軽減
- ①鉄道・河川・道路事業者等に対する、水害リスク情報や水害の回避・被害軽減のための様々な取り組みについて情報提供

■ 対策の概要

- ・大規模氾濫減災対策協議会制度は、平成29年6月19日施行され改正された「水防法第15条の9及び第15条の10」に基づき創設され、平成30年12月13日社会資本整備審議会より答申された「大規模広域豪雨を踏まえた水災害対策のありかた」を踏まえ、協議会の組織等について運用。
- ・構成員については、協議会毎に実施する取組み内容や地域の実情等を鑑みて決定するとされ、「洪水時の運用調整等が必要となる公共交通事業者」や「下流域に情報提供が必要なダム管理者(利水ダムを含む)」とあり。

■ 対策の現状

富士川流域における減災対策協議会では、令和3年6月に第二期（令和7年まで）の「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく富士川流域の減災に係る取組方針」を策定した。第2期として、新たに「ダム放流情報を活用した避難体系の確立」「災害の伝承」の取組を追加し、取組を進めている。

第2期 概ね5年で実施する取組の再編成

第1期の5か年が経過し、第2期に向けてさらに流域全体で取組む意識をもって取組を推進し、進捗管理が容易となるように、継続実施、取組強化・加速化、新規追加の3つの観点で、目的ごとに取組項目の再編を含む成(統廃合)を行った。

継続実施

継続して実施することでさらに改善を図ることができる取組について、引き続き実施

- ・防災教育の促進
- ・関係機関が連携した水防訓練の実施
- ・排水ポンプ車等、災害対応における機器の操作講習会の実施 等

取組強化・加速化

第1期から継続して実施すべき重要な取り組みのうち、取組を強化・加速化すべき取組を設定

- ・多機関連携型タイムラインの拡充
- ・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進
- ・広域避難体系の構築
- ・応急的な避難場所の確保
- ・洪水予測や河川水位の状況に関する解説

新規追加

最近の出水から得られた課題から実施すべき取り組みを追加

- ・ダム放流情報を活用した避難体系の確立
- ・災害の伝承

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト:山梨県】

『下水道施設の浸水対策』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための充実

(4) 経済被害の軽減

③ 下水道施設の浸水対策

※別紙「各対策のバーチャート」における分類



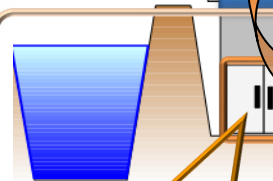
○対策浸水深より大きな浸水深に対しては、BCP
によるソフト対策によって「下水道機能の迅速な
回復」を目指した、施設の浸水対策を含むBCP
の見直しに取り組む。



ソフト対策

中高頻度の確率で発生する浸水

ハード対策



止水板の整備

受変電設備等
の移設



防水窓の整備

○下水道施設の耐水化対策については、耐水化計画に基づき
おおむね5年程度で対策浸水深の半分程度の対策を行い、概ね
10年で対策浸水深までの耐水化対策を実施する。(山梨県)

富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている県市町村

山梨県、南アルプス市、甲府市、富士市、富士宮市

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト:山梨県】

『早期復興を支援する事前の準備』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(5)関係機関と連携した早期復旧・復興の体制強化

①被害自治体に対する支援の充実

■ 対策の概要

- ・平成29年6月19日施行され改正された「水防法第15条の9及び第15条の10」に基づき創設された大規模氾濫減災対策協議会制度により、協議会においての必要な取組み事項について整理。
- ・この取組みの中で、「災害時及び災害復旧に対する支援強化」や「災害情報の共有体制の強化」があり、洪水発生中や洪水後における災害状況の迅速な把握と、関係機関への共有化が求められているところ。

■ 対策の現状

- ・山梨県では、平成30年度より導入した「ドローン」を活用し、河川管理業務への導入。
- ・令和元年10月の台風第19号では、県内の災害現場等調査の為、「ドローン」を使用しているところ。



富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織

山梨県、静岡県

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト：韮崎市、南アルプス市、昭和町、富士川町、身延町】

『市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実』

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(5) 関係機関と連携した早期復旧・復興の体制強化

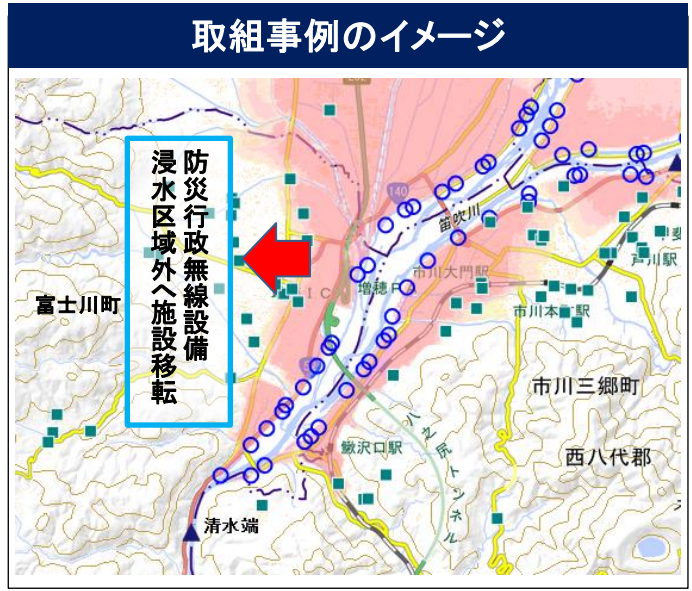
② 広域的な被災情報を迅速に把握

■ 対策の概要

- ・平成29年6月19日施行され改正された「水防法第15条の9及び第15条の10」に基づき創設された大規模氾濫減災対策協議会制度により、協議会においての必要な取組み事項について整理。
- ・この取組みの中で、「市町村庁舎や災害拠点病院等の自主水防活動の推進に関する事項」として、災害時拠点病院等の施設管理者への情報伝達の充実があり、洪水時の確実な情報伝達が求められているところ。

■ 対策の現状

- ・韮崎市、南アルプス市、昭和町、富士川町、身延町では、「防災無線システムや非常用電源設備を庁舎上層階に移設」や「浸水想定区域内の行政機能(防災行政無線設備)を移転」「庁舎への流入止水板整備」を行い、情報伝達等の機能確保を図った。



富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織
甲斐市、中央市、笛吹市、早川町、南部町

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト:国土交通省、県・市町】

『排水機場、樋門、水門の操作情報の共有、内水排除施設及び排水ポンプ車の運用・配置シミュレーション訓練』

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - (5)関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化
 - ③氾濫水を早期に排水するための対策

※計画策定は、国土交通省。
訓練参加は県・市町を対象。

■ 対策の概要

- ・洪水氾濫時における浸水被害の軽減、早期復旧を目的とした排水計画(案)を作成する。
 - 策定においては、想定最大規模の浸水想定区域を前提にし、氾濫ブロック毎にアクセスルート検討、排水ポンプ車の配置位置及び台数の決定、排水開始タイミング等の計画を策定。
 - 又、本計画(案)を活用し、関係機関参加の下での緊急シミュレーション訓練実施や、市町参加による災害対策機械講習会を実施し、災害発生時に備える。

<緊急排水作業準備計画(案)の事例>

<活用イメージ(緊急シミュレーション訓練より)>

富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織
災害対策訓練は山梨県・静岡県の18市町を対象に実施。排水計画に関する訓練は今後調整。

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト: 甲府河川国道事務所】

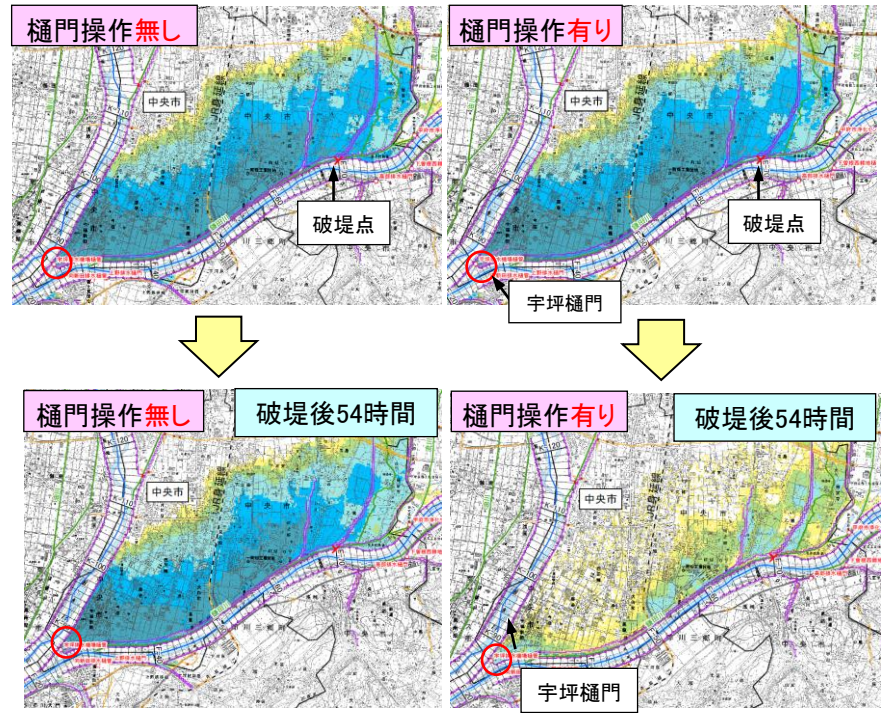
『氾濫水を速やかに排水するため樋門等の機能向上』

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- (5)関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化
- ③氾濫水を早期に排水するための対策

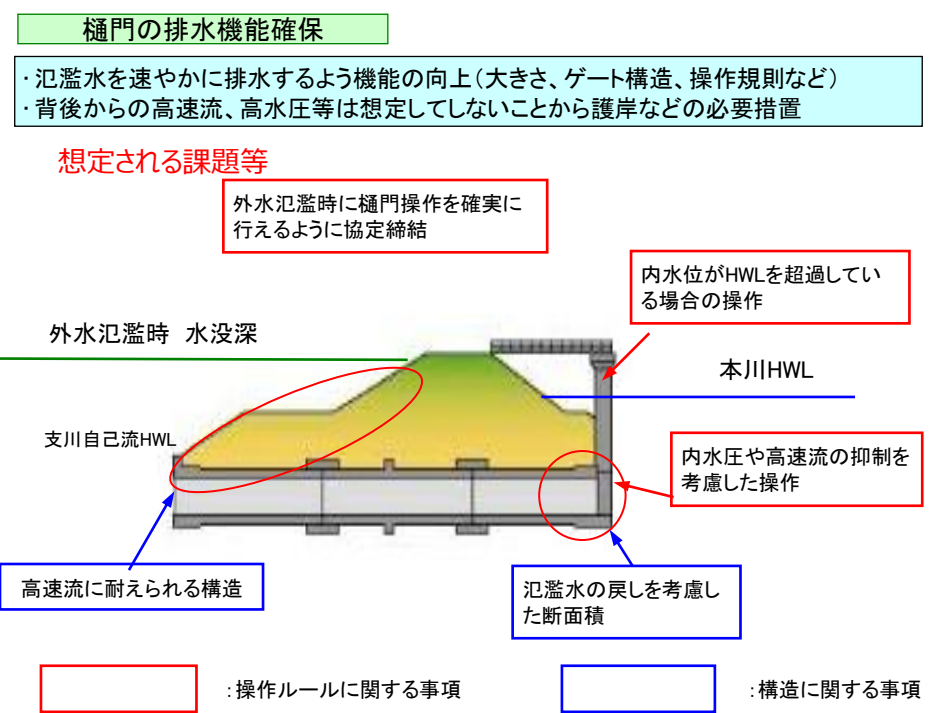
■ 対策の概要

・洪水氾濫時における浸水被害の軽減、早期復旧を目的とした排水計画や必要に応じ改良を検討する。

<緊急排水作業目標(案)の事例> 72時間設定



<イメージ> 改良等の想定される課題等



■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト: 甲府河川国道事務所】

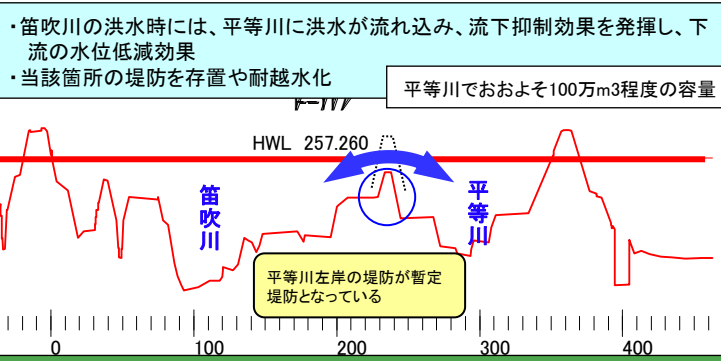
『緩衝機能の保持』

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - (6)関係者と連携した治水機能の保持
 - ①河川の合流付近における浸水許容や超過流量の分散

■ 対策の概要

・洪水氾濫時において浸水被害が甚大となる下流側の氾濫域の上流で、被害軽減、早期復旧を目的とした緩衝機能の保持(浸水許容や超過流量の分散など)。

<イメージ例>



富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織
甲府河川国道事務所、山梨県

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト: 甲府河川国道事務所】

『木島地区河川防災ステーションの整備』

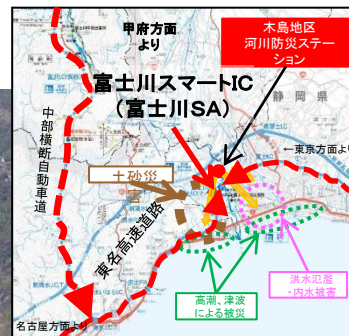
3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(7) 河川防災ステーションの整備

④ 災害時の緊急復旧活動と平常時利用

■ 対策の概要

・木島地区河川防災ステーションは、富士川下流部における災害時の緊急復旧活動を行う上で必要な緊急用資材の備蓄、駐車場、ヘリポート等のほか、富士市が管理する市立富士川体育館を水防センターとし、迅速かつ円滑な復旧活動の拠点として整備中。また、平常時には、雁堤・木島地区かわまちづくり整備との連携により、周辺市町の交流・憩い・学習の場を創出することにより、富士川を軸とした文化活動の拠点として、地域活性化に寄与する。



＜増穂防災ST＞



道の駅富士川



道の駅富士川 (外観)



親子たこ作り体験



・先行事例として、甲府盆地の下流の増穂地区河川防災ステーションは、隣接した道の駅と連携し、ひとの集まりを創出している。

・道の駅富士川は交通の立地条件に恵まれたほか、売り場作りの工夫やコンサート開催など様々な魅力作りを実施している。

富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織

甲府河川国道事務所

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト: 甲府河川国道事務所】

『礫河原再生』

- 4. グリーンインフラの取組
- (1) 自然環境の保全・復元などの自然再生

■ 取組の概要

- ・ 樹木伐採や河道整正等により礫河原を再生



対策イメージ



富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織

甲府河川国道事務所

■対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト: 甲府河川国道事務所】

『自然石を用いた護岸整備』

- 4. グリーンインフラの取組
- (2) 治水対策における多自然川づくり



■取組の概要

護岸整備の実施の際、自然石を用いることで、自然との調和を図ります。

■対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト: 甲府河川国道事務所】

『かわまちづくり』

- 4. グリーンインフラの取組
- (3) 魅力ある水辺空間・賑わい創出

■取組の概要

かわまちづくり計画に基づき、河川空間の利用促進のため、管理用通路や、階段護岸などの整備を行い、魅力ある水辺空間、賑わいの創出を図ります。



神明の花火大会の様子
(甲府河川国道事務所: R4年度)

富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織

甲府河川国道事務所、山梨市、笛吹市、市川三郷町、富士川町、富士市

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト: 甲府河川国道事務所】

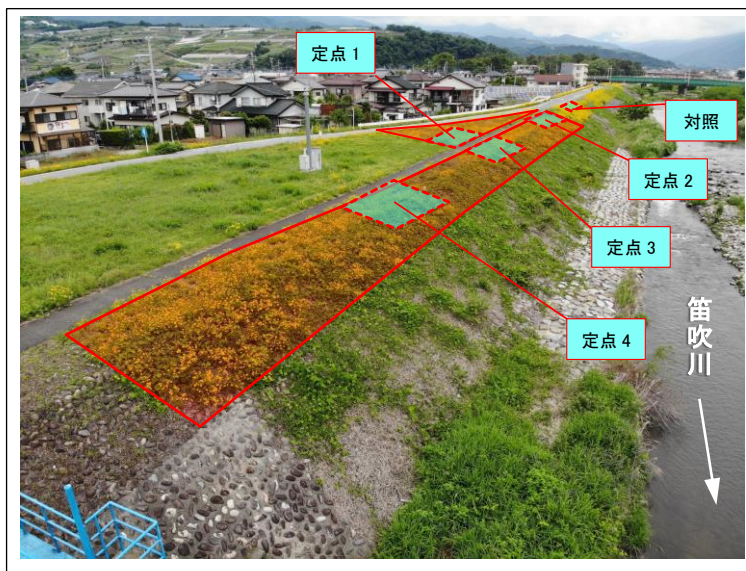
『外来種駆除』

- 4. グリーンインフラの取組
- (4) 自然環境が有する多様な機能活用の取組

■ 取組の概要

・ 外来種駆除

外来植物(オオキンケイギク)
繁茂対策としての硫安散布



外来種駆除写真(韮崎市)



河川清掃における外来種駆除
の様子(甲斐市)



- オオキンケイギク繁茂対策(硫安散布)の効果を確認することを目的に、散布箇所を対象に、オオキンケイギクの生育状況を確認、散布を行い効果を確かしている。
- オオキンケイギク駆除作業を実施している。

富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織

甲府河川国道事務所、韮崎市、甲斐市